

三重大学血液内科 学術研究に関するお知らせ

(初版 2008 年 12 月 25 日作成;参加施設のみ改訂 2009 年 4 月 8 日)

CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫におけるリツキシマブ併用化学療法の治療成績に関する 後方視的調査研究

この研究は、リンパ腫の中でもっとも頻度の高いびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫のうち、CD5 という表面マーカー(細胞表面にある蛋白質)が陽性である患者様の症状や検査データ、リツキシマブ(リツキサン®)を用いた治療の効果を事後に調べることにより、このリンパ腫の診断や治療の工夫に今後生かせるような情報を得ることを目的としています。

研究の内容、方法について

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫のうち、CD5 が陽性となる割合は約 10%です。この研究では、2002 年ー2007 年に当科を含む参加施設(次ページ)で CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫と診断された患者様の診療録(カルテ)を用いて、患者様の症状、検査データ、リンパ腫の診断のための情報(病理組織検査、表面マーカー検査、遺伝子検査、染色体検査)を調べます。

いただいたデータは各参加施設で所定の記録用紙に記入され、匿名化、番号化したうえで、研究事務局に郵送され、解析されます。また、中央診断といって患者様の病理標本や表面マーカー検査の結果を複数の専門医により確認させていただくことがありますが、その場合も匿名化を行った標本やデータを用いるため、患者様の個人情報外部にもれることはありません。本研究の成果は学会や学術論文として公表され、基本的には個人名との照合はいたしません。ただし、患者様の希望があれば結果をお伝えします。なお、この研究に関し、患者様の費用負担や採血検査などの身体的負担は一切ありません。

この研究は厚生労働省がん研究助成金の支援を受けています。この研究の内容および方法は、各参加施設の倫理委員会での厳正な審査の結果承認が得られ、実施について当学医学系研究科長の承認を得ています。ご自分のデータをこの研究に使用してほしくないとお考えの患者様は、下記の連絡先までご連絡をお願い申し上げます。データの使用にあたっては、患者様およびご家族に診療上の不利益などが一切生じないよう、以下のことを厳守いたします。

- 医学研究以外には使用しない
- 患者様およびご家族の氏名は公表しない。個人情報厳密に守秘する。
- 研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しない
- いつでも同意は撤回可能であり、それによって患者様に不利益を及ぼすことはない

連絡先、この研究の研究事務局

三重大学医学部附属病院血液内科 講師 山口 素子
住所 〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174
電話 059-231-5016 FAX 059-231-5200

この研究の参加施設名は次のページをごらんください。

お問い合わせは上記までお願いします。

[CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫におけるリツキシマブ併用化学療法の治療成績に関する
後方視的調査研究](#)

研究参加施設（2009 年 4 月 8 日現在）

東北大学

群馬大学

埼玉医科大学国際医療センター

埼玉医科大学総合医療センター

松戸市民病院

国立がんセンター東病院

国立がんセンター中央病院

癌研有明病院

横浜市立大学附属病院

藤沢市民病院

神奈川県立がんセンター

横浜市立大学附属市民総合医療センター

東海大学

信州大学

金沢医科大学

名古屋大学

愛知県がんセンター中央病院

名古屋市立東部医療センター東市民病院

大垣市民病院

三重大学

京都大学

岡山大学

中国中央病院

岡山医療センター

聖マリア病院

住友別子病院

岡山労災病院

広島大学

山口大学

愛媛大学

愛媛県立中央病院